

# The Rolling Stone Archive

## 1967年(創刊号)から 最新号まで完全収録!

フルカラー・フルページで、広告も含めた刊行当時のままの誌面を収録。

全文検索・記事単位の書誌検索により、詳細な調査が可能です。

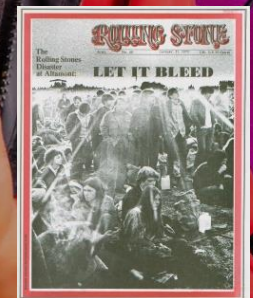
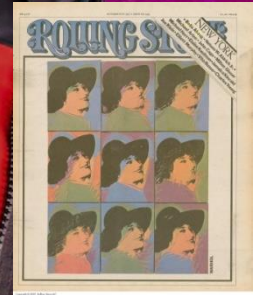
※冊子体の刊行との間に、データ化のための若干のタイムラグが生じる場合があります。

## 音楽と社会、政治、カルチャー

## アメリカの若者文化を語る ユニークな資料

1960年代から現在までの大衆音楽の歴史を知るための貴重な資料です。音楽のみならず、アメリカのユース・カルチャーの記録として、その時々々の若い世代の文化・社会・政治的な見解をよく反映した資料として、広く研究・調査にご利用頂けます。

ローリングストーンはロックや大衆音楽の雑誌として広く知られていますが、それにとどまらず、映画・テレビなどの大衆娯楽、政治・社会問題も扱っています。HIV、麻薬、イラク戦争、若者の犯罪、LGBTQ、BLMなど、時代ごとのさまざまな社会問題を若者の視点から報じた記事を読むことができます。



誌面にはミュージシャンや俳優のみならず、若者の関心の高い政治家やアーティストも登場。(左上より、オバマ元大統領、アンディ・ウォーホルの作品、ジョン・レノン、大混乱で死者もでた1969年の野外コンサート「オルタモントの悲劇」を報じる表紙)

# ローリングストーンの デジタル・アーカイブ登場!

# The Rolling Stone Archive

## ビートルズからK-popまで ユース・カルチャーの歴史

ローリングストーンは、カリフォルニア大学バークレー校をドロップアウトした21歳のJann Wennerが、ジャズ評論家のRalph Gleasonとともにサンフランシスコで1967年に創刊しました。

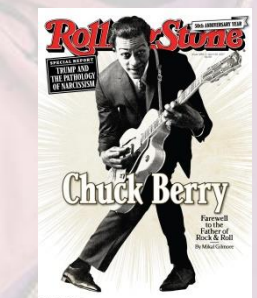
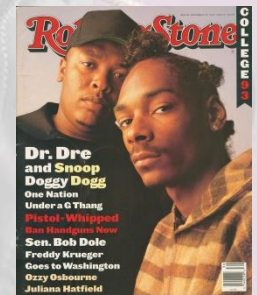
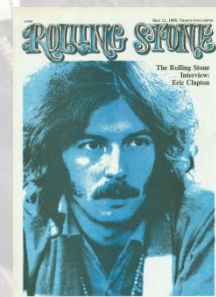
学生世代の芸術、政治的感性のバロメーターとなる雑誌を標榜して、特にロック・ミュージックを時代の精神を代弁する芸術として批評的に論じ、急速に人気を得ました。

早くも70年代初めには広く知られる雑誌となり、1977年にはNYに拠点を移して、題材を映画のレビュー、著名人のインタビューや写真、ファッションなどにも広げて現在に至ります。

状況に身を投じて主観を通じて記述する「ゴンゾー・ジャーナリズム」のスタイルでカウンター・カルチャーのアイコンとなったハンター・S・トンプソン、「クイーン・オブ・パンク」パティ・スミスら、若者文化を牽引したアーティストらが寄稿しています。

## ご契約

- 年間購読ないし恒久アクセスライセンス(買い切り)。個別にお見積り申し上げます。  
※後者はご購入時とその後1年ごとにサービス維持料金が必要です。
- IPアドレス認証、全キャンパス利用、リモートアクセス可、同時アクセス数無制限、印刷・ダウンロード可  
※教育・研究機関向けの商品です。  
個人・企業にはご提供できません。



お問い合わせは 販売総代理店  
紀伊國屋書店 デジタル情報営業部  
pqhelp@kinokuniya.co.jp